CHILD REARING

-ともに子育て-

― 流行する手足口病―

手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）は毎年夏に小児を中心に流行する感染症です。
今年は全国的に増加傾向にあり、警報レベルとなる地域も増えてきているようです。

▮どんな症状？

口の中の粘膜や手のひら、足の裏、足の甲などに水疱性の発疹が現れ、1～3日間発熱することがあります。口内炎の痛みから、飲食を受けつけずに脱水になることもあります。

【かかってしまった時の対処法】

・刺激のあるものは避けて、のどごしの良い冷たい飲み物や、かまずに飲み込めるものを与えましょう。
例：麦茶・牛乳・冷めたスープ・ゼリー・プリン・冷めたおじや・豆腐

▮感染を拡大させないため、対策をしましょう

飛沫や手指を介して感染するので、十分な手洗いと手指消毒が大切です。また、回復後も便にウイルスが排出されているので、トイレ後やおむつ交換後は手洗いと消毒を徹底しましょう。

LET's HEARING

-聞いてみよう！-

おしえて
ヤナギダさーん！

ヤナギダがおススメするキャンプ場ベスト3！

1 広島県世羅郡

芦田湖オートキャンプ場

八田原ダムからすぐ近くのキャンプ場。
とにかく自然のみ！
大人も子どももの〜んびり過ごせます！

2 愛媛県西条市

東予シーサイドキャンプ場

キャンプ場から一歩出ると海！
岩などもなく安心して泳ぐことができます。初心者の方も気軽にキャンプデビューができます♪

3 愛媛県西条市

大鬼谷オートキャンプ場

目玉は地上8Mのアスレチック！
大人でもスリル満点！シャワー室やトイレがとてもキレイな高規格キャンプ場です♪

HOUSE GALLERY

- 福山市 H様邸 -

家族の距離がぐっと近づく

リビングアクセスの家

PICK UP！

リビングイン階段

2階の自室に行く際、顔をあわせるので自然とコミュニケーションが生まれます！

センターキッチン

リビング・和室を見渡すことができ、さらには脱衣場まで目が届くため視界が広がります♪

COMMUNICATION
INSIDE A FAMILY

CUSTOMER VOICE

-お客様の声-

＼お客様から直筆のメッセージをいただきました！／

ひなたハウスでお家を建ててもらいスタッフの皆様に
本当感謝で一杯です。
こだわりの強い2人（夫婦）だったので
色々と迷惑をかけたし大変だったと思い
ます。理想のかっこいい家ができて
家族全員喜んでいます。ありがとうございました。
これからも住まいの主治医として よろしくお願いします。

EVENT INFORMATION

-お知らせ-

9 SEPTEMBER 2022

定休日：水曜日

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				01	02	03
04	05	06	07	08	09	10
11	12	13	14	15	16	17 完成見学会 IN 神辺町
18 完成見学会 IN 神辺町	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

完成見学会

9/17（SAT）18（SUN）

IN　福山市神辺町

「モノトーンで統一されたシンプルスタイル」

オシャレな理由は

1つじゃない！！

STAFF COMMENT

-ひなたスタッフのつぶやき-

9月号のお題

食欲の秋到来！

1ヶ月毎日食べるとしたら何？

それしか食べれません。

代表取締役
岡本　征也
(おかもっさん)

芋

焼き芋。じゃがいも。

専務取締役
岡本　純一
(じゅんじゅん)

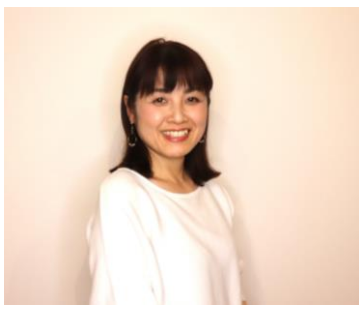
米

味の向こう側へ。

コーディネーター
足立　真幸
(アダっちゃん)

納豆ご飯

これしかありません！



コーディネーター
三田　里美
(さんちゃん)

冷麺

いけます！！

住宅サポート
亀川　菜々美
(カメちゃん)

梨

大好物です♡

住宅サポート
柳田　麻希
(ギダさん)

塩茹でトウモロコシ

エンドレスで食べれます！

住宅サポート
藤井　美穂
(みぽりん)

ラーメン

味変します！

住宅サポート
向井　詩織
(おりちゃん)

エビ

エビにまみれたい・・

工務
宮本　陸
(りっくん)

きゅうり

生でかぶりつきます！

工務
瀬尾　俊輔
(せおしゅん)

卵焼き

弁当に必ず入ってます！

9月1日は「防災の日」

防災の日が9月1日になったの理由は、1923年9月1日に発生した「関東大地震」にちなんでいます。
関東大地震は、東京や神奈川、埼玉、茨木、千葉、静岡など広大地域で震度6以上の強い揺れを観測し、各地に甚大な被害をもたらした大地震です。
非常時にサッと持って避難できるよう、日頃から持ち出しバッグの中には食料や貴重品、衣類、救急用品などを入れておきましょう。
防災の日や防災月間は、あくまで災害の恐ろしさや防災の大切さを思い出す「きっかけの日」といえます。防災の日だけを気合入れて災害対策をするのではなく、防災の日をきっかけに意識を高め、その後も行動し続けることが大切です。